



平成26年10月10日

各 位

会社名 旭松食品株式会社
 代表者名 代表取締役社長 木下 博隆
 (コード2911東証第2部)
 問合せ先 執行役員経理部長 足立 恵
 (TEL. 06-6306-4121)

特別損失の発生および業績予想の修正に関するお知らせ

このたび当社において、下記のとおり特別損失が発生すること及び、最近の業績の動向等を踏まえ、平成26年5月15日に公表いたしました平成27年3月期第2四半期連結累計期間(平成26年4月1日～平成26年9月30日)の業績予想を下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 特別損失の内容

退職給付費用 201百万円

本日開催の取締役会において、当社が加入している長野県食品厚生年金基金の解散にむけた加算部分の一部支給停止に伴い、該当金額の一定割合を当社において補償することを決議いたしました。

そのため平成26年9月30日時点での要支給額201百万円を退職給付費用として当第2四半期連結累計期間に計上いたします。

2. 業績予想の修正について

平成27年3月期第2四半期(累計)連結業績予想の修正(平成26年4月1日～平成26年9月30日)

| | 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 四半期純利益 | 1株当たり 四半期純利益 |
|-----------------------------------|-------|------|------|--------|-----------------|
| | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 円 銭 |
| 前回発表予想(A) | 4,700 | △90 | △60 | △80 | △ 8.74 |
| 今回修正予想(B) | 4,300 | △310 | △290 | △520 | △56.80 |
| 増 減 額(B-A) | △400 | △220 | △230 | △440 | — |
| 増 減 率(%) | △8.5 | — | — | — | — |
| (ご参考)前期第2四半期実績 (平成26年3月期第2四半期) | 4,666 | △122 | △106 | △115 | △12.64 |

<修正の理由>

第2四半期累計期間の業績につきまして、売上高は主力の凍豆腐事業での価格改定を進めたこと、加工食品については販売競争の激化に伴いそれぞれ大きく減少いたしました。売上原価につきましては円安による原材料価格の高騰や売上減少に伴う工場稼働率の低下により売上高原価率が増加し、販売管理費ではシステム投資の償却負担が増加したことなどにより、営業損失、経常損失が大きく増加いたしました。また、退職給付費用を特別損失に計上することなどにより四半期純損失5億2千万円を計上する見込みであります。

なお、通期の連結業績予想につきましては、第3四半期以降のコスト削減施策などの実施等により業績は回復する見込みであり、前回予想を修正しておりません。

(注)上記の予想数値は現時点で入手可能な情報に基づき算出したものであり、実際の業績は今後さまざまな要因によって記載の予想数値と異なる可能性があります。

以上